

第3回太田市ごみ減量市民会議 議事録

○ 日 時

平成25年11月27日（水）13時30分～15時30分

○ 場 所

太田市清掃センター3F厚生室

1. 開 会

2. あいさつ（太田市ごみ減量市民会議 会長 高橋 輝明）

3. 報 告（事務局）

①第2回会議の概要及び各委員からの調査依頼事項の報告について

1) 第1回及び第2回太田市ごみ減量市民会議の議事録について

事務局から「第1回太田市ごみ減量市民会議」及び「第2回太田市ごみ減量市民会議」の議事録について各委員へ配布および概略について報告

2) 紙資源ごみの集団回収について

第2回太田市ごみ減量市民会議で委員より紙資源ごみの行政区等団体の集団回収状況の調査依頼について説明。

○「紙資源ごみ」の行政回収から集団回収に移行の経緯について

- ・平成23年度の紙資源ごみの回収比率が、行政回収が全体の2割、集団回収等が約8割を占めるため、行政回収分の2割を集団回収に委ねることにより、紙資源ごみの集団回収体制の全市的拡大をはかり、行政回収を廃止することとする。

また、集団回収による報奨金の交付を受けることにより、地域活動資金を確保し、地域活性化を図る目的とした。

- ・現在、199行政区中83行政区が団体登録をし、また97行政区が育成会等の団体に委託して集団回収しており、市内の行政区のほとんどが紙資源ごみをはじめとする資源ごみの集団回収を実施している。

②ごみ減量・リサイクルについてのアンケート結果について

- ・実施日：11月10日（日）産業環境フェスティバルの会場
- ・対象者：来場者のうち300人が対象

- ・アンケートの内容及び結果については、別添資料で報告。

アンケート集計内容について委員からの意見・質問

委員 ごみについての意識を高める意味でも、今回のような「ごみ減量・リサイクルについてのアンケート」を様々な場所で実施してもらいたい。

委員 「ごみの分別」等についての研修も様々な機会をとらえて実施してもらいたい。

事務局 了解した。ごみについてのアンケートを実施する場合や研修会等を開催する場合には、資料の提供、講師（職員）の派遣等するので、清掃センターまでご連絡いただきたい。

委員 太田市全体をいくつかに分け、ごみの分別等の研修会等行うことにより、市民運動としてのごみの意識も高まるのではないか。

事務局 了解した。市全体の研修会等も今後検討していきたい。
また、職員も積極的に出前講座等に参加させていただくので遠慮なく相談願いただきたい。

4. 協議

①ごみ減量の施策に係る協議について（自由討論）

○参考資料として他市の提言書についての紹介

委員 ある事業所（販売店）では、買い物の際配布されるレジ袋が有料になったと聞いたが、マイバックを持参するお客が増えてごみの減量が期待されるのではないか。

委員 11月からレジ袋は、1枚につき5円負担していただき、袋の作成費用を差し引いた残金については、寄付をしている。
それを始めてから7割の人がマイバックを持って来るようになり、ごみの発生抑制につながると思う。

委員 アンケート結果をみると「マイバッグ」を持参する人が7割おり、ビン等の詰め替え用の物を買って使っている人も7割いて、ごみの発生を防いだり、少なくすることが市民の意識の中に浸透していると思わ

れる。

また、自分の地域では、集団回収をはじめから資源ごみ回収報奨金の交付を受けることにより、区民から区費を半分位いただければ済むほどの費用効果が出ておりとてもいい制度だと思う。

分別の煩雑さやめんどろのため、資源ごみが燃えるごみ袋の中に捨てられていることが多く、このことから考えると、指定ごみ袋の値段についてのアンケート結果にもあるが、値段を上げることにより、分別等できる資源ごみを入れなくなり、燃えるごみの量も減るのではないか。

委員 配布された資料の「ごみの組成分析表」中で、厨芥ごみの構成比率が少ないのはなぜか。

事務局 ごみの組成分析をするときには、重量ベースではなく乾燥させて分析をしているために排出量の比率が少なくなっている。

委員 合併前の旧新田町では、ごみ袋は、重量制、チケット制を採用し、高いごみ袋を町民に購入してもらっていた。また、木の枝等については、他施設で資源化する等、町民にごみの減量、資源化の意識を根付かせる施策を行っていた。

合併後、太田市もごみ袋のチケット制の導入を検討したが、色々な理由でチケットによる従量制はできなくなり、単純方式によるごみ袋の有料化となった。

現在は、アンケート結果にもあるように市民の意識は、ごみ袋の有料化についても浸透しているように感じる。

市民にごみ減量のことを考えてもらうためにも、ごみ袋の値上げ等も1つの方法と考えるが、それを提起するためには「今、なぜごみ減量化が必要なのか」を訴えるテーマをごみ減量市民会議の中で強調することを考えていかなければならないと思う。

過去は、ダイオキシン・CO2問題等のテーマ性があったが、「今、なぜごみの減量化をしなければならないか」を会議の中で協議していく中で、おのずと問題点は絞られてくるのではないか。

委員 過日、ごみの新焼却炉の稼働が平成33年度に決まり建設計画が公表された。今、ごみの減量化することで、すこしでも新焼却炉を小さくして、建設費も安くすればその分の税金等も他の施策に使用できるのではないか。

また、ごみ袋の値上げについても、値上げする理由づけが市民にも分かり易いように説明できればコンセンサスが得られるのではないかと。

委員 ごみを減量した場合、焼却炉でごみを燃やす時に燃えるごみが不足して、逆に助燃材等が必要となり、費用負担が大きくなるのではないかと。

事務局 新焼却炉建設計画を説明すると、3年間、環境アセスメント調査を行ない、4年後に設計に移行するという計画である。
今回、ごみ減量の提言を受け、設計年の4年後、どれだけの「ごみ減量」ができたかによって建設の内容も変更されるため、より実践可能な提言をお願いしたい。

委員 太田市は工業都市であり、会社の従業員等の転出入者も多い。転入者に、ごみの出し方や分別等の周知徹底を行った方が良いと思う。
また、地区の団体等で行っている集団回収で資源ごみの売却益や、市から報奨金等の収入があり、地区団体等でも色々な物を買ったり、行事にも使えるようになった。このような施策を転入者等に周知し、ごみの分別、減量について訴えていくべきである。

委員 燃えるごみを燃焼させる際、温度が上昇しすぎて焼却炉に負担がかかるということを知ったことがあり、生ごみの水分もそれを防ぐ効果もあるということであるが、生ごみの水分はどのくらい必要か。

事務局 それについては、担当ではないので今すぐには答えられないが、新しい焼却炉の場合は、発電施設が併設されるため、水分は無い方が良いと思われる。

委員 生ごみは、土地があれば埋めて堆肥化にすれば良いし、堆肥化するための処理槽を購入するには、市で「生ごみ処理槽設置助成金」を出している所以他们らを利用すれば良い。

委員 生ごみは、季節によっては腐敗による悪臭等の問題がある。堆肥化することは良い事だが、水を切って燃えるごみに出す事も1つの方法と思われる。もし、完全に水を切って乾燥して出すことができれば、今よりごみの重量は減ると思う。

委 員 只今の意見に賛同したい。新焼却炉稼働までに、生ごみの水切りの周知徹底すれば、重量換算ではかなりのごみ減量につながるのではないかと。

事務局 生ごみの水切りについては、以前から周知しているので、今後周知について徹底したい。

委 員 先程、他の委員から発言のあった転入者のごみの分別・排出等の周知については、現在どのように行っているのか。

事務局 市民課で転入手続きをする際、転入者には、「家庭ごみの収集予定表」と「家庭ごみの分け方・出し方」のリーフレットを配っている。ただし、ごみステーションの位置については、各地区の環境保健委員に確認しないと分からないため、清掃センターに問い合わせいただき、各地区の環境保健委員を紹介している。

委 員 転入者の配布物に「4R」の徹底や分別項目の具体的表現を入れたらどうか、また、生ごみの堆肥化については良いことだと思うが、臭いや虫の発生等がひどいためできる人がやるというようにした方が良い。

事務局 了解した。

委 員 平成33年度に新焼却炉が稼働となるが、大泉町・千代田町・邑楽町も構成町となり3町のごみも入るため、3町にもごみの減量を進めてもらいたい。

事務局 「太田市外三町広域一般廃棄物処理基本計画」に記載されているごみ減量計画どおり、3町にもごみ減量に努めるよう呼びかけたい。

会 長 太田市ごみ減量会議も後4回程度である。次回から提言書の具体的な内容の話し合いをしたいと考えるが、提言書を作成するための編集委員を何名か決めたいが良いか。

委 員 全員賛成。

会 長 それでは編集委員に立候補する委員を募りたい。

委 員 編集委員については、会長に一任したい。

会 長 それでは、委員の中から 3 名指名し、私も入り 4 名としたい。

委 員 選任された編集委員についてはよろしくお願ひしたい。

会 長 次回会議までに編集委員会議を行い、提言書の基本テーマ等について委員に諮りたい。

委 員 了解。

5. その他

- ①次回の会議は、日時 12月25日（水）13時30分～、
場所 太田市清掃センター3F 厚生室で行います。

「太田市ごみ減量市民会議」からのアンケートにご協力ください。

ごみ減量市民会議は、環境を健全に維持し、これを未来ある次世代に引き継ぐため、資源を抑制し、ごみの減量等の方法を検討することを目標に9月に発足いたしました。

ごみ減量市民会議の検討資料とするため、アンケートのご記入をお願いします。

◇適当なものに○をつけてください。

① お住まいは？ 太田地区 ・ 尾島地区 ・ 新田地区 ・ 藪塚地区 ・ 市外

② ご性別は？ 男 ・ 女

③ ご年齢は？ 未成年 ・ 20歳～39歳 ・ 40歳～59歳 ・ 60歳以上

◇ごみ減量やリサイクルについて取り組んでいることはありますか？

取り組んでいるすべての数字に○をつけてください。

- 1、買い物する際、マイバックを持参し、レジ袋は断っている。
- 2、過剰な包装や、不要な包装は断っている。
- 3、物を買うときは、本当に必要か考え、丈夫な物や長く使えるものを買うようにしている。
- 4、洗剤やシャンプーなどは詰め替え用を買っている。
- 5、食料品の買いすぎや料理の作りすぎをしないようしている。
- 6、買い物をする際、できるだけ再利用できるものを買うようにしている。
- 7、不用になった衣類等は、親戚や友人などに譲ったり、バザーやお店に出している。
- 8、資源ごみは地域で行う廃品回収等に出している。
- 9、生ごみは三角コーナー等を使用し、水切りをして出している。
- 10、生ごみ処理機を使用している。
- 11、その他（)
- 12、取り組んでいない。

◇ごみを捨てる際、資源ごみとして分別しているものはありますか？

分別しているすべてのものに○をつけてください。

・ビン ・カン ・ペットボトル ・その他プラスチック ・紙パック

・古着 古布 ・新聞紙 ・ダンボール ・雑誌 ・雑紙 ・食品トレイ

◇現在の太田市のごみ袋は有料化されており、もえるごみ袋（45リットル）は1枚15円です。（全国平均は45円）ごみの処理は1袋あたり約230円の費用がかかっています。ごみは排出者責任とし、ごみの減量化をしていくうえで、本市のごみ袋の金額についてどう思いますか？ 適当なものに○をつけてください。

・高い ・普通 ・安い

ご協力ありがとうございました。

太田市ごみ減量市民会議（事務局：太田市清掃センターリサイクル推進課 TEL0276-31-8153）

<アンケート結果>

住まい

太田地区	尾島地区	新田地区	藪塚地区	市外	未記入
61%	6%	12%	7%	14%	0%

性別

男	女	未記入
40%	58%	2%

アンケート総数
300人

年齢

未成年	20歳～39歳	40歳～59歳	60歳以上	未記入
1%	15%	27%	57%	0%

取り組んでいること

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
71%	58%	55%	79%	45%	40%	45%	68%
⑨	⑩	⑪	⑫				
65%	17%	3%	1%				

- ① 買い物する際、マイバックを持参し、レジ袋は断っている。
- ② 過剰な包装や、不要な包装は断っている。
- ③ 物を買うときは、本当に必要か考え、丈夫な物や長く使えるものを買うようにしている。
- ④ 洗剤やシャンプーなどは詰め替え用を買っている。
- ⑤ 食料品の買いすぎや料理の作りすぎをしないようにしている。
- ⑥ 買い物をする際、できるだけ再利用できるものを買うようにしている。
- ⑦ 不用になった衣類等は、親戚や友人などに譲ったり、バザーやお店に出している。
- ⑧ 資源ごみは地域で行う廃品回収等に出している。
- ⑨ 生ごみは三角コーナー等を使用し、水切りをして出している。
- ⑩ 生ごみ処理機を使用している。
- ⑪ その他
- ⑫ 取り組んでいない。

<⑪その他での回答>

- ・生ごみを畑に捨てている。
- ・生ごみを肥料にしている。
- ・生ごみを野菜づくりに活用。
- ・ペットボトルを水筒代わり等にしている。
- ・除草した草は、乾燥させ、枯れたものを出す。

分別しているもの

ビン	カン	ペットボトル	その他 プラスチック	紙パック	古着 古布	新聞紙	ダンボール
94%	93%	94%	60%	49%	36%	84%	73%
雑誌	雑紙	食品トレイ					
63%	32%	45%					

ごみ袋の金額

高い	普通	安い	未記入
12%	76%	11%	1%